

平成28年度 部局長マネジメント方針

消防局総務部長 ふじと 藤戸 いつお 逸夫



仕事に対する基本姿勢

近年、毎年のように大規模な自然災害が頻発し、近い将来、南海トラフ巨大地震の発生も危惧されていることから、各種災害に的確に対応するべく消防局と消防団が一体となり、より強固な消防体制を構築する必要があります。

このことを踏まえ、消防局では次の項目を重点課題として取り組み、市民生活の安全確保のため、「安全安心なまちづくり」を推進してまいります。

平成27年度の振り返り

昨年度は、中新開、若江、足代出張所の耐震化工事が完了し、また、西消防署の庁舎が一部完成し運用を開始しました。

消防団については、現場活動時の装備強化のため、防火衣、防火用手袋、防塵マスク、防塵メガネを整備しました。

平成28年度に取り組む重点課題

1 西消防署の建替え

昭和38年に建設された西消防署にあっては、著しく老朽化が進んでいることから、南海トラフ巨大地震等の発生に備え、防災活動拠点としての機能を確保するため、平成26年度から建設工事を進めており、平成27年度末に一部庁舎が完成したところであります。

今後は、平成29年7月の全庁舎完成に向け引き続き計画どおり建設工事の進行管理に努めてまいります。

2 高機能消防指令センターの強化

情報通信技術は、コンピュータや通信環境の著しい技術的進歩によりめまぐるしく発展を

遂げており、本市の高機能消防指令センターもこれらの通信環境に対応させなければなりません。

このため、昨年度作成した基本計画をもとに、平成30年4月に新たな高機能消防指令センターの運用開始に向けて、システムを構築してまいります。



3 消防団の充実強化

「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」が制定され、消防団の重要性が再認識されたところでもあります。この地域防災力として重要な役割を担う消防団の活動拠点である消防団屯所の建替えを、地元の協力を得て計画的に進めてまいります。

また、現場活動時における消防団員の安全確保のため、装備や資機材の充実強化を図ります。

4 人材の育成

職員の若年化が進んでいることから研修等を通じて倫理観の醸成を図り、消防吏員としての資質の向上に努めるとともに、管理監督体制の強化に取り組みます。

また、社会公共の安全に対する要求が多様化し、その水準も益々高くなっている中、消防の使命達成のため、職員一人ひとりが自覚と責任を持って職務に取り組み、職員の能力や可能性を引き出し、組織力の一層の向上を目指してまいります。